

公益財団法人MSD生命科学財団 平成 28 年度事業報告

I. 概況

当財団は、人類の健康・疾病に関する生命科学研究の向上を目的として、平成 14 年 10 月に文部科学大臣の認可を受けて設立されました。平成 23 年 4 月には公益財団法人としての移行認定を受け、新たな制度下で、生命科学の研究の推奨及び助成とともに、国際交流を担うべき人材の育成に関する事業として、研究者への留学/研究サポート、研究者育成に繋がるシンポジウムの開催等の活動を行っております。

また、平成 28 年 10 月には、財団名称を公益財団法人MSD生命科学財団と変更いたしました。
平成 28 年度に行った事業活動は、次のとおりです。

II. 事業活動報告

1. 医学領域:

実績:12,689 万円/予算:13,692 万円

1-1. 研究助成

実績:7,527 万円/予算:7,917 万円

本年度は、生活習慣病領域、東日本大震災に伴う健康障害に関する研究、感染症領域の女性研究者への支援の計 3 つの研究助成を行った。

(当事業は、「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する。)

➤ 生活習慣病領域 【公募期間:4 月 1 日~6 月 20 日】

実績:5,960 万円/予算:6,371 万円

- 目的 生活習慣病領域の基礎・臨床研究分野における研究者の育成とその研究奨励
- 研究課題 生活習慣病領域の疾病の原因解明と新たな治療法の開発
- 募集人数 20 名程度
- 研究助成 1 件あたり 200 万円(100 万円×2 年間)
平成 27 年度に決定した交付者 19 名(2 年目)、平成 28 年度に決定した交付者 21 名(1 年目)に、助成金(各 100 万円)を交付した。
- 交付者決定/公開 7 月に 3 分野(循環器、動脈硬化、糖尿病)の選考委員による書類審査を行い、8~9 月に選考委員会を開催、平成 28 年度交付者 21 名を決定し財団ホームページに公開した。11 月 3 日に授与式を行った。
- 万有医学奨励賞 平成 26 年度交付者の 2 年間の研究成果報告について、選考委員による書類審査/選考を行い、第 5 回万有医学奨励賞受賞者 5 名を選出した。この 5 名は、11 月 3 日に開催された「第 5 回万有医学奨励賞「最優秀賞」選考会」においてその研究成果を発表し、選考委員による選考の結果、最優秀賞(追加助成 300 万円)の京都大学医学部 腎臓内科学 山本 正道先生、優秀賞(追加助成各 100 万円)4 名に表彰を行った。受賞者は財団ホームページに公開した。

➤ 震災研究支援 【平成 24 年度募集終了】

実績:203 万円/予算:207 万円

- 目的 東日本大震災による健康障害の調査を伴う研究に助成し、震災に伴う健康障害の予防・治療に関するエビデンス構築を支援
- 研究助成(追加) 1 名に対し追加助成金 200 万円(2 年目)を交付した。
- 最終報告/決定 平成 28 年 1 月 17 日に実施した研究成果最終報告会の結果に基づき、対象者に対する 2 年目の追加助成(200 万円/年・2 年間)を行った。

➤ **女性研究者支援 -感染症領域-** 【公募期間:7月1日～9月30日】

実績:1,362万円／予算:1,339万円

- 目的 感染症・ワクチン領域におけるアンメット・メディカル・ニーズに取り組む女性研究者の支援
- 研究助成 1件あたり200万円(100万円×2年間)
平成28年度に決定した交付者(1年目)6名に、助成金(各100万円)を交付した。
- 交付者決定/公開 10～11月に選考委員による書類審査を行い、12月に選考委員会を開催、平成28年度交付者6名を決定し、財団ホームページに公開した。
平成29年2月に授与式を行った。
- 万有医学奨励賞 平成26年度交付者6名の2年間の成果について、12月10日に「成果報告会」を行い、選考委員による選考を行った。
この結果、万有医学奨励賞(追加助成150万円)は、長崎大学 熱帯医学研究所 モイメンリン先生に決定し表彰を行った。受賞者は財団ホームページに公開した。

1-2. **海外留学助成**

実績:4,990万円／予算:5,274万円

我が国の学術研究の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を育成・確保するため、優れた若手研究者が海外へ留学し、大学等研究機関において研究に専念できるよう支援するものである。
(当事業は、「助成(応募型)」の事業区分に該当する。)

➤ **生活習慣病領域** 【公募期間:6月1日～9月15日】

実績:2,729万円／予算:2,876万円

- 募集人数 6名程度
- 助成金額 1件あたり400万円(400万円×1年間)
平成27年度に決定した交付者6名に助成金(各400万円)を交付した。
- 交付者決定/公開 10～11月に各分野(循環器、糖尿病)選考委員による書類審査を行い、12～1月に選考委員会を開催、平成28年度交付者6名を決定し財団ホームページに公開した。平成29年3月3日に授与式を行った。

➤ **呼吸器・アレルギー領域** 【公募期間:6月1日～9月15日】

実績:2,261万円／予算:2,398万円

- 募集人数 3名程度
- 助成金額 1件あたり600万円(300万円×2年間)
平成26年度に決定した交付者(2年目)3名及び平成27年度に決定した交付者(1年目)3名に、助成金(各300万円)を交付した。
- 交付者決定/公開 10月に選考委員による書類審査を行い、12月に選考委員会を開催、平成28年度交付者3名を決定し財団ホームページに公開した。平成29年2月4日には、授与式に加えて、すでに帰国した交付者3名による帰国報告会を行った。

1-3. 新規領域(オンコロジー)への支援についての検討 実績:172万円/予算:500万円

- 目的 国民の死因第一位である悪性新生物に関する疾病への予防、治療等に関する研究進展と優秀な人材の育成を支援
- 活動報告 平成 29 年度からの事業開始に向けて、選考委員の選定を行い、候補者への依頼活動を行った。平成 29 年 1 月に選考委員による準備会を開催した。

■ 認知度アップのための活動について

事業活動の認知度アップのため、当財団ホームページ掲載に加えて、次の活動を行った。

- 国内の関連大学・医療機関等へポスター・リーフレットを配布
- 関連学会ホームページに掲載
- 医薬業界誌等に対してプレスリリース等を実施
- 上記に加えて学会等において、募集要項を配付

2. 有機合成化学領域: 実績:2,566万円/予算:2,750万円

2-1 学術講演会の開催並びに助成 実績:2,291万円/予算:2,435万円

(当事業は、「講座、セミナー、育成」の事業区分に該当する。)

① 各地区シンポジウム

- 平成 28 年度に計画した有機合成化学分野の 5 つの学術講演会(福岡、仙台、札幌、名古屋、大津)は、全て盛況に開催された。参加者の合計は、約 1,800 名であった。
- 名古屋メダルセミナーでは、ゴールドメダルがマサチューセッツ工科大学 教授 Stephen L. Buchwald 先生、シルバーメダルが北海道大学 教授 澤村 正也先生にそれぞれ授与され、受賞講演と授賞式が行われた。
- 第 7 回大津会議では、全国から選抜した 16 名の若手研究者との討論・交流が行われた。

② 万有シンポジウム連絡協議会

- 平成 29 年度に実施予定の「第 27 回万有福岡シンポジウム」、「第 28 回万有仙台シンポジウム」、「第 29 回万有札幌シンポジウム」について、各組織委員会で内容が決定され、それをうけて有機合成化学シンポジウムの連携と更なる充実を目的とした「万有シンポジウム連絡協議会(野依良治先生他計 10 名の有機合成化学研究の第一人者で構成)」の第 11 回会合を平成 29 年 2 月に開催した。

③ 四半世紀記念万有シンポジウム

- 3 地区万有シンポジウムが 25 年を超えたことを機に、これまでの活動を振り返るとともに、今後の展開を語り合うことを目的として、東京大学 中村栄一先生、藤田誠先生らが発起人となり記念シンポジウムが開催された。
- ノーベル賞受賞者の大村智先生を含む 6 人の先生方の講演、歴代ノーベル賞受賞者(野依良治先生、鈴木章先生、根岸英一先生)をはじめとする世界的な研究者からの挨拶が行われた。全国から約 400 名の研究者が集い、シンポジウムは盛況裡に終了した。

2-2 Chemist Award (BCA) & Lectureship Award MBLA

実績:274万円／予算:315万円

(当事業は、「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する。)

【公募期間:6月1日～8月15日】

- 9月に行われた書類選考により「Chemist Award BCA 2016」7名が選出された。
- MBLA 面接選考会は11月に開催され、金沢大学理工研究域物質化学系 教授 生越 友樹先生が「Lectureship Award MBLA 2016」に決定した。
- 前年「Lectureship Award MBLA 2015」を受賞した北海道大学大学院理学研究院 准教授 前田 理先生については、7月2日開催の「第28回万有札幌シンポジウム」での講演と授賞式、また10月には米国及び欧州の著名な大学、研究所での講演ツアーを行い、その報告・紀行文を有機合成化学協会誌に投稿した(平成29年4月号掲載)。

III. 管理業務報告

1. 平成27年度事業報告及び決算等について、平成28年6月1日に開催された理事会で承認され、6月21日に開催された評議員会において、決算書類が承認された。同月28日、内閣府に対して定期提出書類の提出を行った。
2. 平成29年度事業計画及び収支予算等について、平成29年3月2日に開催された理事会において承認され、同日に開催された評議員会において報告された。同月29日、内閣府に対して定期提出書類の提出を行った。
3. 新任理事3名について、変更登記及び内閣府への認定届出を行った。
4. 平成28年10月1日付で、財団の名称変更を行い、変更登記及び内閣府への認定届出を行った。
5. 役員・評議員・選考委員等に対して、マイナンバー提供依頼・回収を行い、税務署への法定調書報告を行った。

※ 本報告書における金額は、人件費・固定費等の共通経費を除く直接費の概算金額である。

以上